



研究部会報告

● 評価の OR ●

・第 23 回

日 時：10月20日(土) 13:30~16:00

出席者：12名

場 所：政策研究大学院大学

テーマと講師：

(1)「順序付け尺度のゲーム論的解釈と数値計算による検証」

流王智子 (筑波大学)

概 要：審査員が複数人おり、個々の審査員が評価できる対象は対象の一部である状況を想定し、順序付けの方法を研究する。この部分的な審査結果を総合した何らかの尺度を対象全体に与え、対象の順序付けに関する考察を発表した。

(2)「ランクつき選好データと DEA」

小畑経史 (大分大学)

概 要：複数の回答者にいくつかの対象に対する好みの順を回答してもらうことで得られるランクつき選好データをもとに、対象の総合的な人気の順位を決定するための手法がいくつか提案されている。そのような手法のうち DEA を利用するものを紹介した。

● 防衛と安全 ●

・第 4 回

日 時：10月26日(金) 16:00~18:00

出席者：22名

場 所：政策研究大学院大学 本館4階会議室4A

テーマと講師：

「人的過誤を考慮した高速道路トンネル火災の防災対策」

八戸英夫 (工学院大学)

概 要：まず、一般、高速道路、トンネルについての

現状と問題点について説明があった後、トンネル火災の防災対策について報告がなされた。側道等、設備は十分である現状を受けて、人的過誤による被害に焦点を当て、最適な換気制御や消火装置始動までの時間等、オペレーションに主眼を置いた対策の報告があった。

● 不確実環境下での柔構造最適化モデリング ●

・第 3 回

日 時：10月27日(土) 13:30~16:30

出席者：8名

場 所：千葉大学 理系総合研究棟一階

テーマと講師：

(1)「最適経路問題とその応用」

河村一知 (日本薬科大)

概 要：平面上の格子点を端点から端点まで移動するとき経路上の危険度の総和を最小にするような経路選択法に関する研究であり、始めから全ての危険度が読めれば最適経路は直ぐ求まるが、Step 毎に視界範囲の危険度を比較する逐次経路選択の手法についての報告であった。

(2)「非拡大写像の不動点近似に関する最近の結果」

青山耕治 (千葉大学)

概 要：ヒルベルト空間上の非拡大写像の不動点近似に関する最近の結果を述べた。強収束、弱収束に関して、さまざまな条件とその元での収束を論じた。最後に零点問題、均衡問題、不動点問題を関数解析の立場から定義し、それらの問題間の相互関係を詳しく述べた。

(3)国際会議報告

「日中学術交流研究会」(天津理工大学)に参加して
蔵野正美 (千葉大)

「4th Model. Deci. for AI」(北九州市立大学)に参加して

堀口正之 (弓削高専)

「The 5th Int. Comp. Conf.」(China)に参加して
影山正幸 (千葉大)